

## (別紙 2) 特定 DTC 照会アプリ接続準備

型式試験番号の再取得に伴い、J2534 Utility の更新版をリリースいたしました。

特定 DTC 照会アプリ起動前は、必ず実施ください。

J2534 Utility (AllDev) のインストール手順は、(別紙 1) J2534 Utility 再セットアップをご覧ください。

**有線（USB接続）・無線（Bluetooth接続）の両方に対応しております。  
お客様のご使用環境に合わせて選択してください。**



検査車両側 DLC

スキャンツール

特定 DTC 照会アプリ  
インストール済み PC

(独) 日本自動車技術総合機構サーバー

### 1 A. 有線接続

- (1) 車両がイグニション"OFF"であることを確認し、スキャンツールを車両に接続します。
- (2) 車両をイグニション"ON" または必要に応じてエンジン ON にします。
- (3) 付属の USB ケーブルを使用して、スキャンツールとパソコン PC を接続します。

### B. 無線接続

- (1) 車両がイグニション"OFF"であることを確認し、スキャンツールを車両に接続します。
- (2) 車両をイグニション"ON" または必要に応じてエンジン ON にします。

### 2 OBD 検査モードへの切替 (例 : TPM-6)

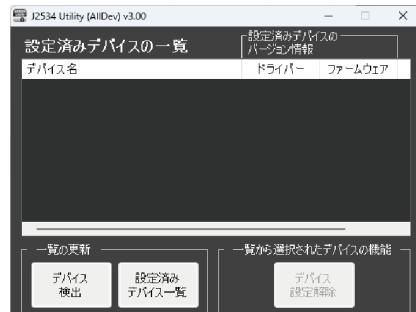
※ nanoWIN の場合、モード切替は必要ありません。3 へお進みください。

- (1) メインメニュー「特殊機能」→「J2534 モード」の順に選択すると、再起動し OBD 検査モードが起動します。  
[準備完了！ 接続を待機中] のメッセージが表示された状態で待機させます。



### 3 デバイス設定

- (1) PC にインストールした J2534 Utility (AllDev) を起動します。

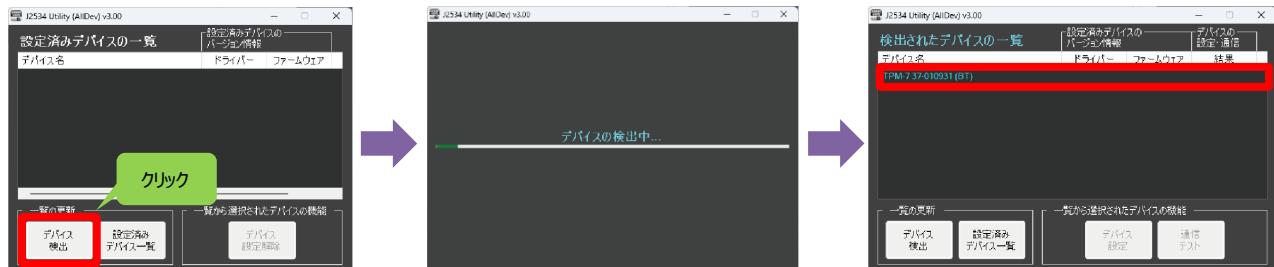


(次ページへ続く)

3

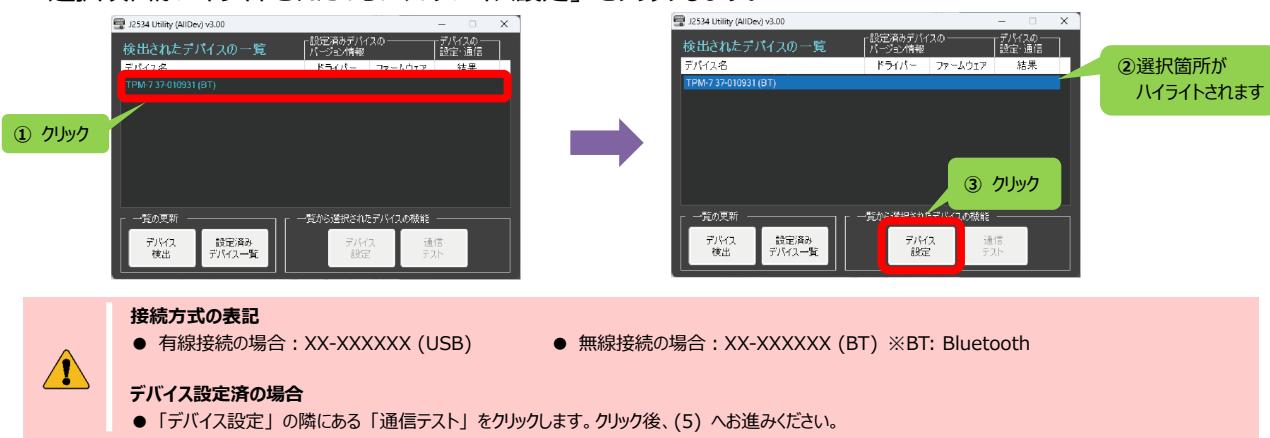
(2) 「デバイス検出」をクリックします。

接続可能なデバイスの検出を行い、完了すると検出されたデバイス一覧に表示されます。



(3) 一覧に表示された接続したデバイス（機種名\_XX-XXXXXX(接続方式)）と、本体のシリアル番号が一致していることを確認したのちに、デバイス名をクリックします。

選択項目がハイライトされたのちに、「デバイス設定」をクリックします。



(4) 「デバイスの追加」ダイアログが表示されます。ダイアログをクリックすると続いて「デバイスのペアリング」ダイアログが表示されます。[許可] をクリックしてください。

接続成功のメッセージが表示されるとペアリング完了です。[閉じる] をクリックしてください。

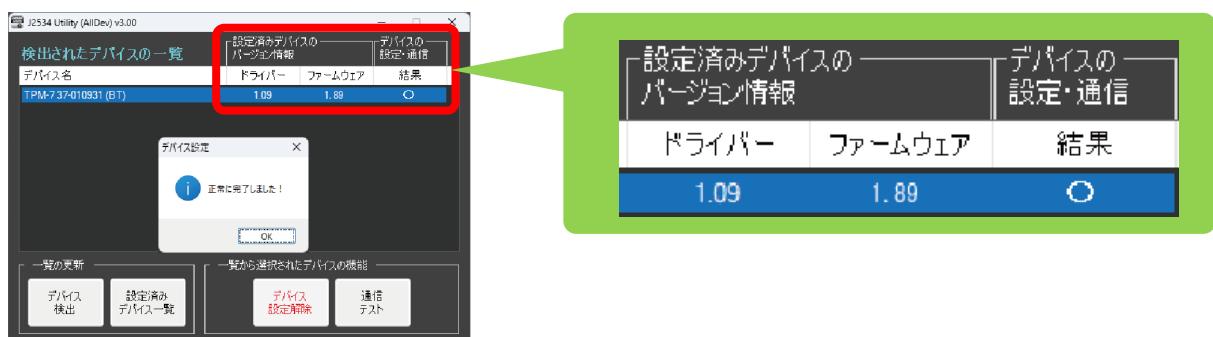


- デバイスのペアリングダイアログと同時に Windows の設定画面が表示された場合は、ペアリング完了後に閉じてください
- デバイス設定済の場合は (5) へお進みください

(5) デバイス設定が完了すると「正常に完了しました！」ダイアログが表示されます。

[OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

「ドライバー」「ファームウェア」欄にバージョン値、「デバイスの設定・通信」欄に “○” が表示されると、デバイス登録および通信テストは完了です。



以上で接続準備は完了です。J2534 Utility は [x] をクリックして終了します。  
車両接続状態を保持し、特定 DTC 照会アプリを起動して OBD 検査を行ってください。